

コニカミノルタ株式会社
2022年3月期（2021年度）第1四半期

決算説明会

専務執行役 大幸 利充
2021年 7月29日

- **1Q実績**：概ね想定通り
- **FY21業績見通し・株主還元**：期初見通し据え置き
- **事業ポートフォリオ転換の進捗**：各事業毎に適切なタイミングで開示
- **中期経営計画「DX2022」**：計数計画精査後、5月の取締役会で承認

【億円】

	2021年度 1Q	2020年度 1Q	前年 同期比	為替影響を 除く前年同期比
売上高	2,299	1,732	+ 33%	+ 26%
営業利益 親会社の所有者に帰属する	31	△ 226	-	-
当期利益	10	△ 173	-	-
為替レート(円)				
USドル	109.49	107.62	+1.87	
ユーロ	131.96	118.48	+13.48	

売上高

- 全社 : 需要回復と成長領域増収によりFY19の95%水準まで回復。
- 事業別 : 全事業セグメントが前年同期比で増収。計測の過去最高四半期売上が寄与し、インダストリーがFY12 3Q以降で四半期最高売上を計上。

営業利益/ 資本効率

- 営業利益 : 前年同期から257億円の回復。インダストリーは営業利益もFY12 2Q以降最高の80億円、営業利益率22.6%と全社をけん引。販管費1,000億円未満を継続。販管費比率43.2%（前年比△10.9pt）と収益構造を大きく改善。
- 資本効率 : 棚卸資産削減により1Qとしては高水準な営業CF黒字確保。

2021年度 1Q 業績 | 事業セグメント別売上高と営業利益

【億円】

売上高	2021年度		2020年度		前年	為替影響を
	1Q		1Q		同期比	除く前年同期比
デジタルワークプレイス事業	1,212		946		+ 28%	+21%
プロフェッショナルプリント事業	479		318		+ 51%	+40%
ヘルスケア事業	252		205		+ 23%	+21%
インダストリー事業	352		261		+ 35%	+31%
センシング	122		71		+ 72%	+61%
材料・コンポーネント	205		161		+ 27%	+26%
画像IoTソリューション	26		29		△11%	△18%
コーポレート他	3		2		+31%	+78%
全社合計	2,299		1,732		+33%	+26%

営業利益 (右側：営業利益率)	2021年度		2020年度		前年	為替影響を
	1Q		1Q		同期比	除く前年同期比
デジタルワークプレイス事業	11	0.9%	△96	-	-	-
プロフェッショナルプリント事業	10	2.0%	△71	-	-	-
ヘルスケア事業	△32	-	△47	-	-	-
インダストリー事業	80	22.6%	28	+180%	+172%	
コーポレート他	△37	-	△41	-	-	-
全社合計	31	1.4%	△226	-	-	-

計画に対する進捗

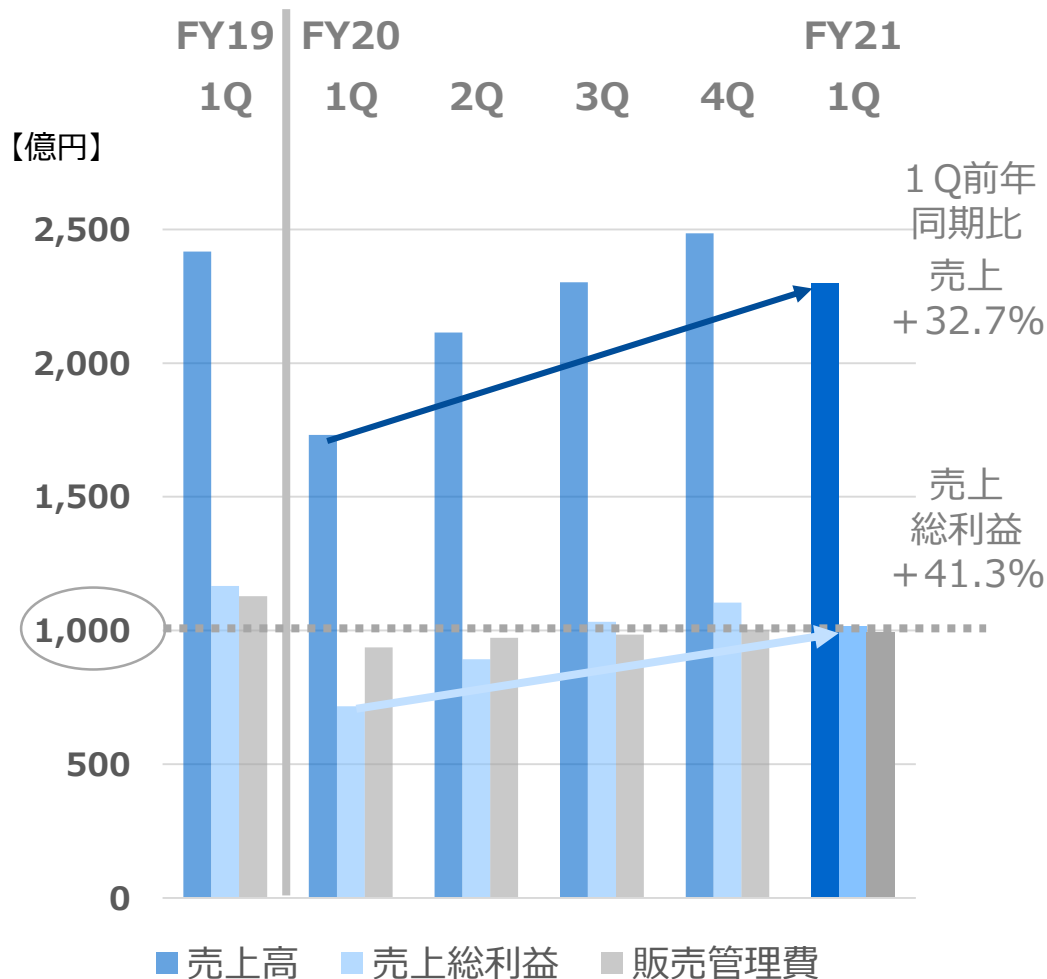
全社	49%	想定通り	<p>売上粗利：想定水準に回復。粗利率は3pt改善想定に対して2.7ptと想定線。</p> <p>販管費：想定通り四半期1,000億円以下の水準維持。前年比増は為替影響。</p> <p>営業CF：在庫低減継続により1Qとして高水準、年間想定に対して好進捗。</p>
デジタル ワークプレイス	30%	OP： やや遅れ DW-DX： 想定通り	<p>OPハード：販売台数は想定通りも、再販先行により粗利率回復に遅れ。</p> <p>OPノンハード：FY19比年間84%想定に対して1Q 84%を実現。</p> <p>DW-DX：想定通りの増収基調継続。</p>
プロフェッショナル プリント	58%	想定通り	<p>PPハード：HPPは想定通り、LPPも新製品効果あるが供給調整のため未達。</p> <p>PPノンハード：FY19比年間90%想定に対し1Q 88%は想定以上。中大手商印が回復。</p> <p>IP：ハードが牽引して超過達成。ノンハードも想定通りの伸長。</p>
ヘルスケア	28%	HC： 想定通り APM： やや遅れ	<p>モダリティ：医療ITは遅れも動態解析は想定通り進展、全体は想定通り着地。</p> <p>遺伝子検査：検査数は想定通りも、保険償還及び高速処理機による原価低減遅延。</p> <p>創薬支援：治験再開スピード、バックログともに想定通り。</p>
インダストリー	70%	超過達成	<p>センシング：旺盛なスマホ需要を背景に、光源色は追加受注の売上計上で好調継続。Specim社連結効果もあり、四半期として過去最高の売上高。計画超過。</p> <p>材料・コンポーネント：機能材料はTV向け位相差、中小型向け薄膜の好調継続。IJコンポは中国の市況堅調、欧州は復調基調。計画を上回る。</p>

※年間増益見通しに対する進捗率

※DW-DX:ITサービスソリューション+ワークプレイスハブ

環境変化に強い強靱な収益構造の確立に向けた取組みは順調に進捗

売上高/粗利/販売管理費（億円）



売上高：

- 全事業セグメントが前年同期比で増収。
- 成長領域の産業印刷、プレジジョンメディシン、センシング、機能材料は対FY19 1Qでも増収。

売上総利益：

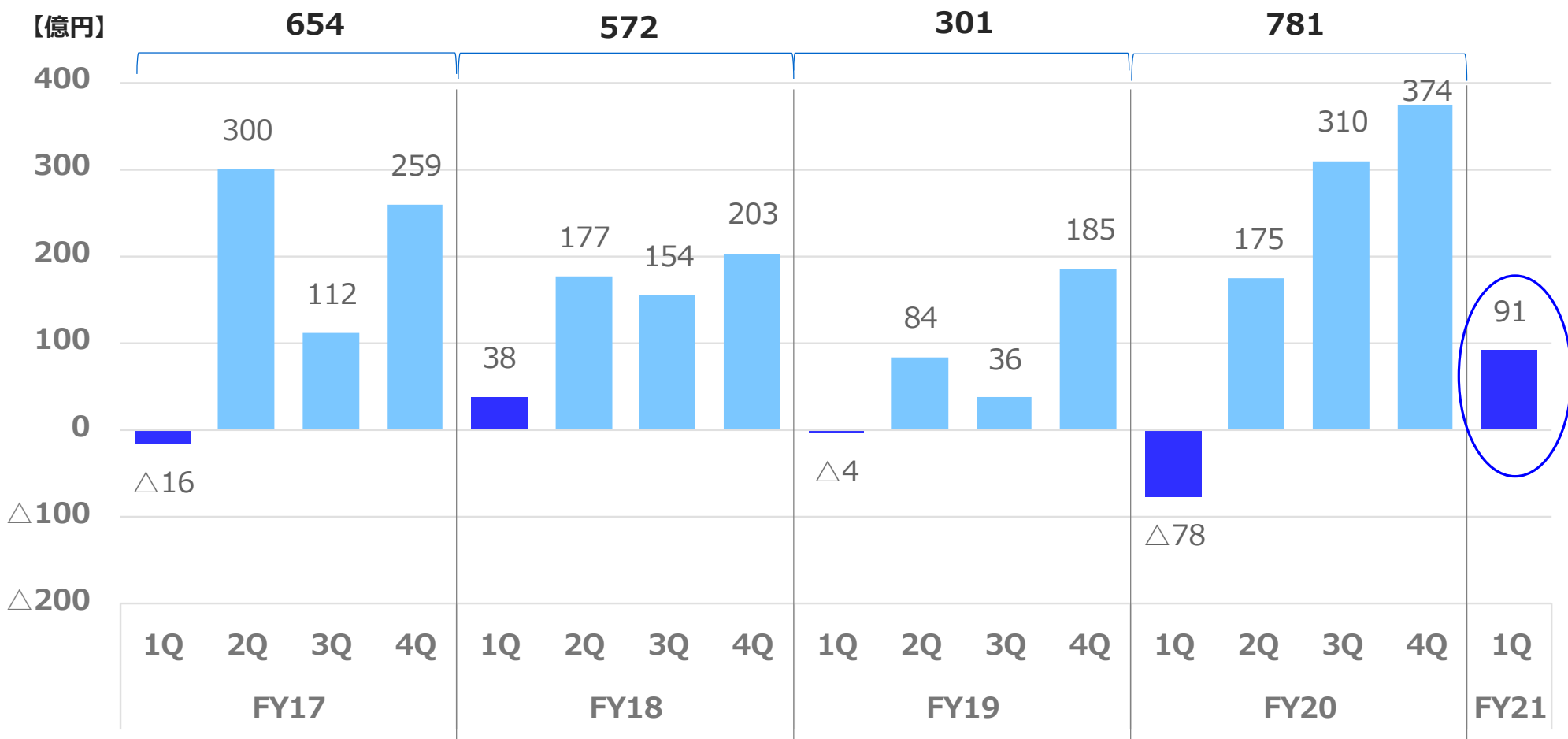
- 売上回復に伴い、前年同期比で粗利額が改善。粗利率は+2.7ptの改善

販売管理費：

- 継続して1,000億円未満を継続
- 売上高販管比率は43.2%で前年同期54.1%から大きく改善
- 前年同期比では為替影響を除く実質ベースで+16億円に抑制。

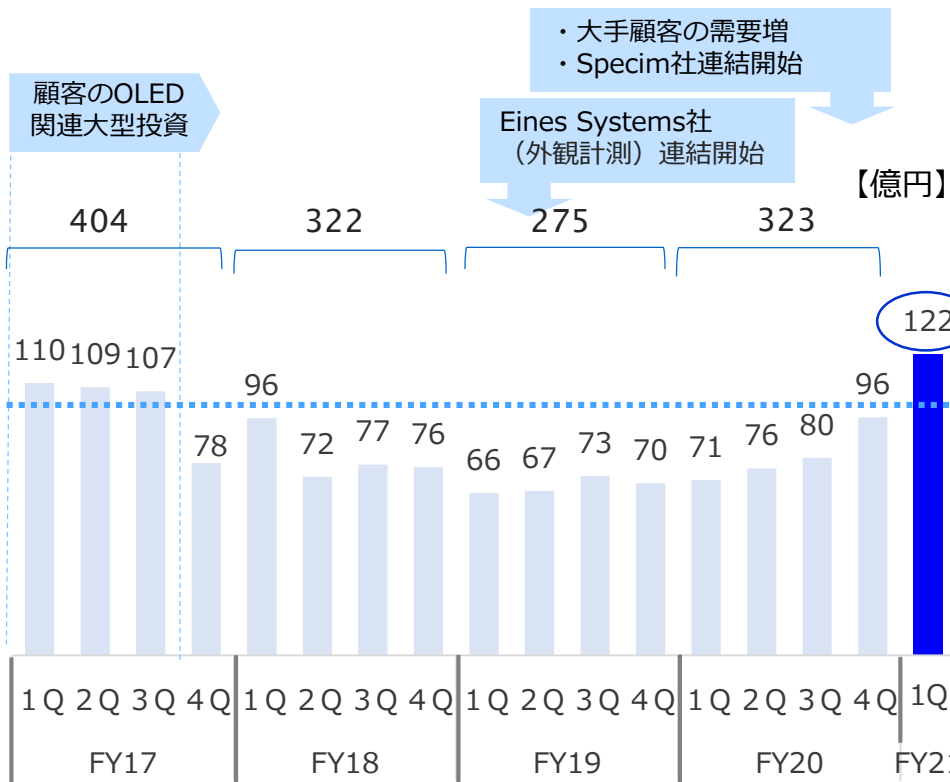
営業キャッシュフロー推移

棚卸資産の削減が寄与し、1Qとしては高水準な営業CF黒字を確保



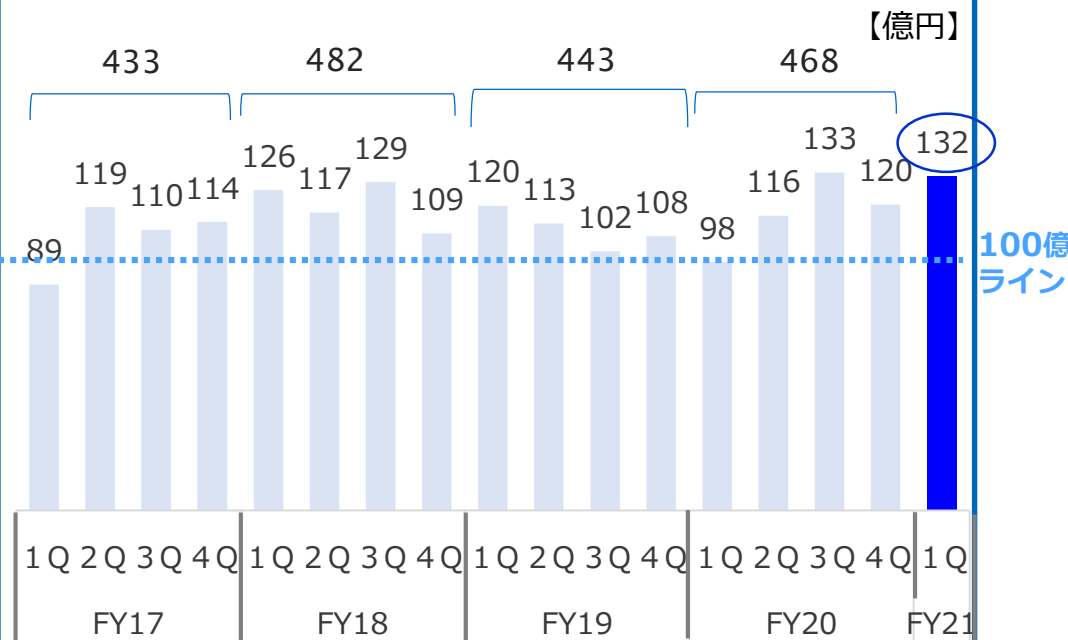
計測機器

- 光源色は大手顧客需要の追加受注の売上を計上。物体色も中国、欧州で受注好調、北米も売上回復。
- Specim社新規連結効果も寄与、ベースラインがアップ。



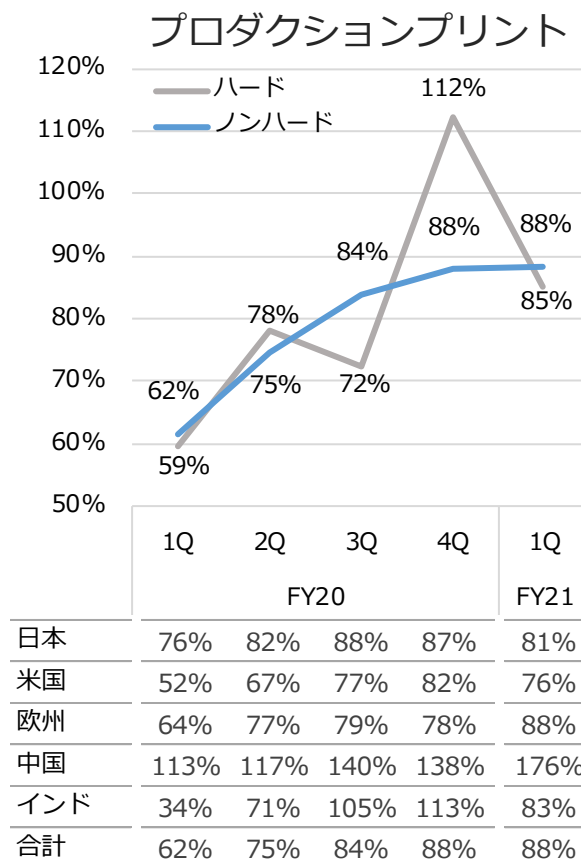
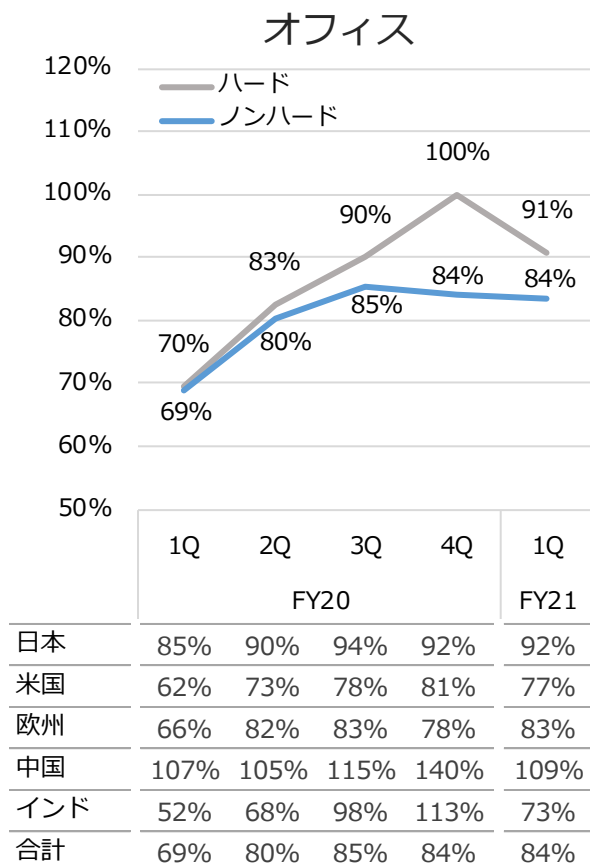
機能材料

- TV向け位相差フィルムや、中小型用薄膜フィルム等の高付加価値製品の需要増でモメンタムを継続。
- 新樹脂「SANUQI」フィルムで大型TV向け販売加速。



- OP：ハードは再販先行でやや弱。ノンハードは想定通り。
- PP：ハードは想定通り、パイプライン良好。ノンハードは想定以上。
- OP/PPともに欧米での9月以降の本格的な回復見込みに変化無し

ハード・ノンハードFY19比売上増減率



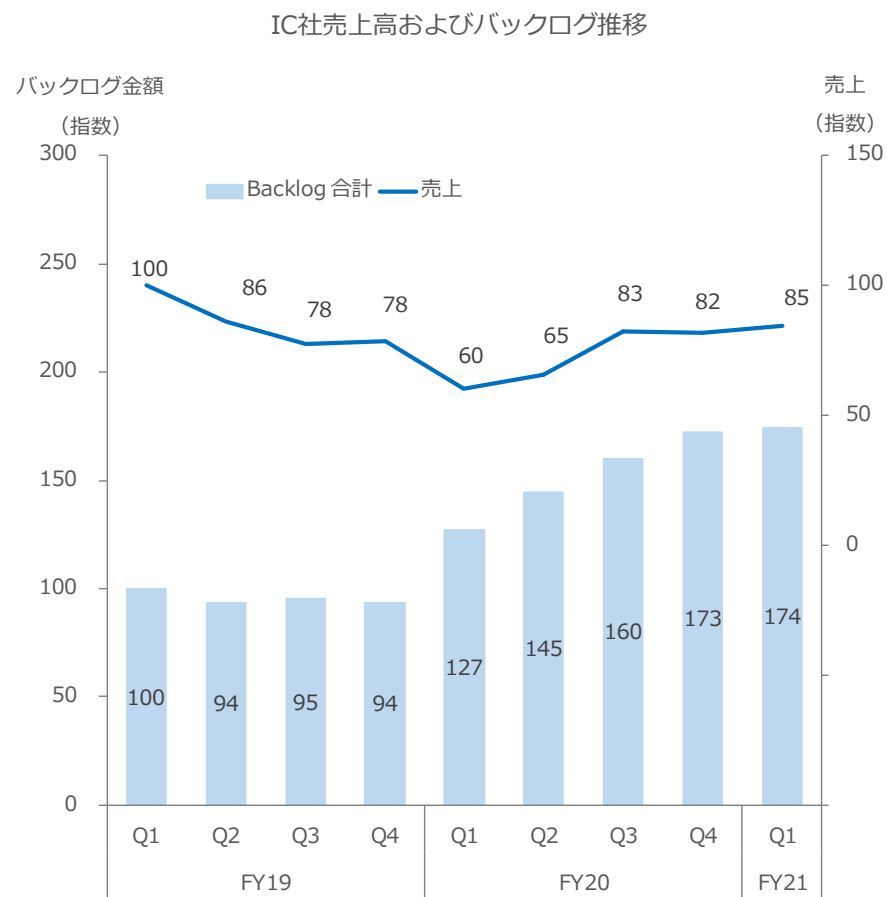
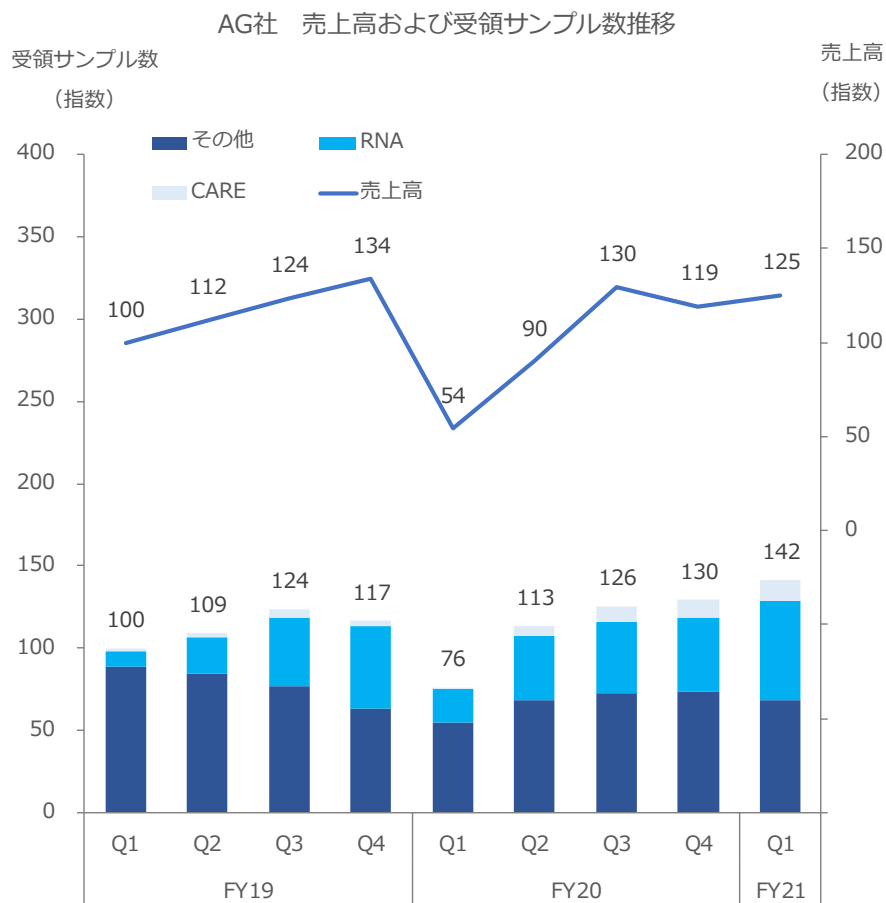
ノンハードFY19比売上増減率地域別



- 遺伝子検査：検査数は想定通りも、保険償還及び高速処理機による原価低減に遅れ。
- 創薬支援：治験再開スピード、バックログともに想定通り。

Ambry (AG)

Invicro (IC)





【億円】

売上高・営業利益

FY19		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	OP	1,164	1,209	1,196	1,166
	DW-DX	185	182	199	188
	合計	1,350	1,391	1,395	1,354
営業利益		55	78	43	1
(率)		4.0%	5.6%	3.1%	0.1%

FY20		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	OP	783	982	1,042	1,079
	DW-DX	163	185	208	211
	合計	946	1,167	1,250	1,289
営業利益		△ 96	3	31	35
(率)		-	0.3%	2.5%	2.7%

FY21		1Q
売上高	OP	1,029
	DW-DX	182
	合計	1,212
営業利益		11
(率)		0.9%

✓ FY19 1Qに対して90%の売上回復

1Qの概況

オフィス (OP)

- HWは、欧米中心に各国の経済活動の再開したことで販売回復 (+29%/FY19比△9%、台数+26%/同△7%)
- NHも、顧客企業での従業員の入社再開に伴いプリントボリュームが想定通り回復 (+20%/FY19比△16%)
- 地域別の売上は、前年にロックダウン影響が大きかった欧州が+25%、米国も+25%で回復。昨年度比較的影響の少なかった日本は+11%、中国は△2%。

DW-DX (DW-DX)

- 米国は大型案件を獲得するなどしてマネージドITサービスを中心にMRR売上が伸長。
- 欧州はデジタルワークフローソリューションの販売を中心に伸長。Workplace Hub Smartの大型案件獲得し、2Qでの売上見込み。
- 自社開発ソリューション (Dispatcherシリーズ) の売上も拡大。

【億円】

売上高・営業利益

FY19		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	PP	342	354	375	335
	IP	38	58	51	60
	MS	126	115	128	119
	合計	506	527	554	514
営業利益		11	10	29	△ 7
(率)		2.1%	2.0%	5.3%	-

FY20		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	PP	204	271	295	327
	IP	29	43	48	63
	MS	84	102	110	117
	合計	318	417	453	508
営業利益		△ 71	△ 17	△ 0	9
(率)		-	-	-	1.8%

FY21		1Q
売上高	PP	303
	IP	59
	MS	117
	合計	479
営業利益		10
(率)		2.0%

✓ FY19に対して95%の売上回復。

1Qの概況

プロダクションプリント (PP)

- HWは欧州、中国を中心にカラー機販売台数が全カテゴリーで伸長 (+38%/FY19比△30%)。昨年発売したHPPとLPP新製品が寄与。MPP新製品販売開始。China Printで (6/23-27) で多数成約。
- NHは中大手の印刷会社を中心に需要回復 (+41%/FY19比△12%)。

産業印刷 (IP)

- HWはKM-1、ラベル、加飾、テキスタイルの全てにおいて対前年大幅増。
- NHもKM-1・ラベル・加飾・テキスタイルの全てにおいてYoY、QoQともに増収。

マーケティングサービス (MS)

- 欧州は主要顧客の販売促進活動再開により売上拡大。
- 日本では緊急事態宣言下でも販促物制作管理のデジタルソリューションサービスが好調。



【億円】

売上高・営業利益

FY19		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	HC	186	264	181	247
	APM	72	74	77	83
	合計	259	338	259	330
営業利益		△ 21	△ 12	△ 4	△ 6
(率)		-	-	-	-

FY20		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	HC	164	191	200	279
	APM	41	59	82	76
	合計	205	249	282	355
営業利益		△ 47	△ 18	△ 5	7
(率)		-	-	-	1.9%

FY21		1Q
売上高	HC	172
	APM	80
	合計	252
営業利益		△ 32
(率)		-

- ✓ HC、APM共に増収。遺伝子検査の売上回復、創薬支援サービスは回復途上。

1Qの概況

ヘルスケア (HC)

- DRは、国内は好調を維持、米州は堅調、アジアの一部でCOVID-19の影響が残るが、インドやアジア地域のX線回診車の需要増加により数量増加。
- 超音波診断装置は、日本の整形外科、産科を中心に伸長。
- 医療ITは、国内はinfomityの販売が引き続き伸長し、米国ではCOVID-19による投資抑制の影響が大きかったPACSの販売が回復し始めた。

プレジジョンメディシン (APM)

- 遺伝子検査は、CARE Programのサイト数拡大による検査数増加、RNA検査の増加により、サンプル数増加を継続。
- 創薬支援サービスは、プロジェクトホールドにより受注残は高水準を継続、製薬企業との治験開始に向けた交渉が活性化。

【億円】

売上高・営業利益

FY19		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	SE	66	67	73	70
	M&C	210	205	189	185
	IIS	25	27	23	34
	合計	300	298	285	289
営業利益		32	37	42	32
(率)		10.7%	12.5%	14.9%	11.2%

FY20		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	SE	71	76	80	96
	M&C	161	176	205	196
	IIS	29	28	30	35
	合計	261	279	315	328
営業利益		28	22	48	58
(率)		10.9%	7.9%	15.1%	17.7%

FY21		1Q
売上高	SE	122
	M&C	205
	IIS	26
	合計	352
営業利益		80
(率)		22.6%

- ✓ SE, PMが牽引、FY12 3Q以降の四半期最高売上高、FY12 2Q以降の最高営業利益

1Qの概況

センシング(SE) : 計測機器 (MI)

- 光源色向けは大手顧客の需要伸長による追加受注の売上計上で好調継続。物体色向けも中国、欧州で受注好調、北米も売上回復。外観計測は前期獲得した受注が売上に寄与。
- 買収したSpecim社連結効果もあり、四半期で過去最高の売上達成。

材料・コンポーネント (M&C) : 機能材料(PM)、光学コンポーネント(OC)、IJコンポーネント(IJ)

- 液晶テレビ向けやPCなどの中小型向け高付加価値フィルムの高需要をとらえ、PMでは前年同期比で大幅に増収。新樹脂「SANUQI」フィルムも大型テレビ向けに販売を拡大。
- IJは主要となる中国国内市況が堅調に推移。成長領域として工業用途への販売も拡大し、前年同期比で増収。

画像IoTソリューション (IIS) : 画像IoTソリューション(IIS)、映像ソリューション(VS)

- IISではIPカメラソリューションの欧州向け販売が好調も、非接触による体表温度測定用サーマルカメラの需要がコロナ感染拡大初期に比べ落ち着き、昨年同期比で減収。

2021年度 1Q 事業セグメント | インダストリー事業 (BU別詳細)

【億円】

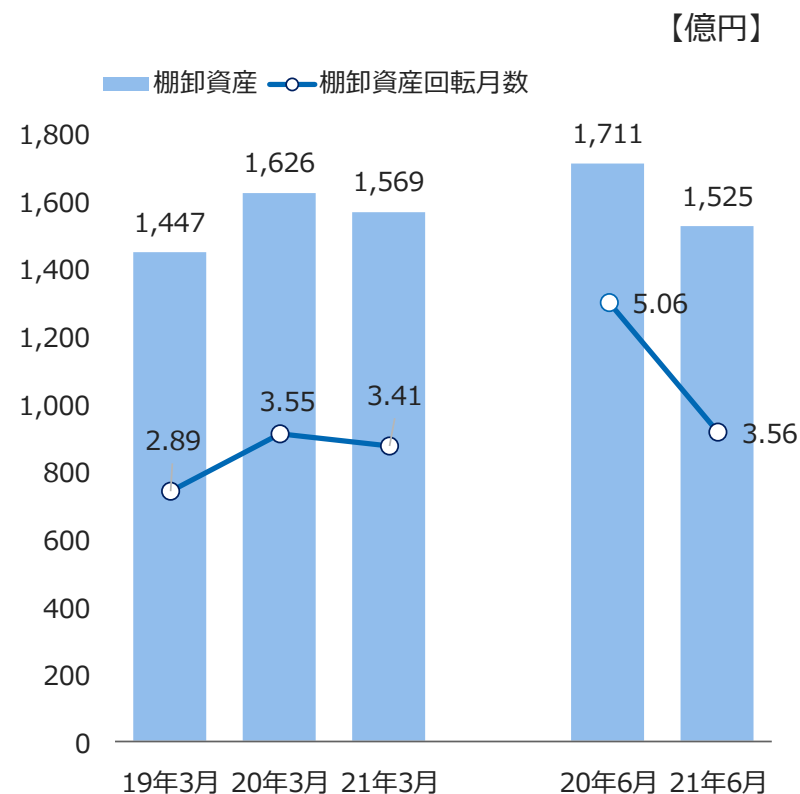
FY19		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	SE	66	67	73	70
	M&C	210	205	189	185
	PM	120	113	102	108
	OC	48	53	52	44
	IJ	42	39	35	32
	IIS	25	27	23	34
	IIS	19	20	16	22
	VS	6	8	7	12
	合計	300	298	285	289
営業利益	32	37	42	32	
(率)	10.7%	12.5%	14.9%	11.2%	

FY21		1Q
売上高	SE	122
	M&C	205
	PM	132
	OC	38
	IJ	35
	IIS	26
	IIS	23
	VS	3
合計	352	
営業利益	80	
(率)	22.6%	

FY20		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	SE	71	76	80	96
	M&C	161	176	205	196
	PM	98	116	133	120
	OC	38	32	40	36
	IJ	25	28	32	40
	IIS	29	28	30	35
	IIS	27	23	20	20
	VS	2	4	10	16
	合計	261	279	315	328
営業利益	28	22	48	58	
(率)	10.9%	7.9%	15.1%	17.7%	

税前利益の黒字化及び棚卸資産削減の継続などにより1Qの営業CFとして高水準。これによりFCFも前期、前々期比で大幅改善。

	FY19 1Q	FY20 1Q	FY21 1Q
税引前四半期利益 (△は損失)	△ 14	△ 238	25
減価償却費及び償却費	189	194	190
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	132	356	147
棚卸資産の増減 (△は増加)	△ 139	△ 84	53
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	△ 56	△ 255	△ 147
その他	△ 116	△ 51	△ 178
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4	△ 78	91
有形固定資産の取得による支出	△ 83	△ 61	△ 93
無形資産の取得による支出	△ 31	△ 23	△ 44
子会社株式の取得による支出	△ 33	△ 2	0
その他	1	25	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 146	△ 62	△ 119
フリーキャッシュフロー	△ 150	△ 139	△ 28



棚卸資産回転月数 = (棚卸資産残高) / (直近3カ月の平均売上原価)

FY21業績見通し

【億円】

	2021年度 業績見通し	2020年度 実績
売上高	9,400	8,634
営業利益	360	△ 163
親会社の所有者に帰属する 当期利益	190	△ 152
為替レート [円]		
USD	105.0	106.1
EUR	125.0	123.7

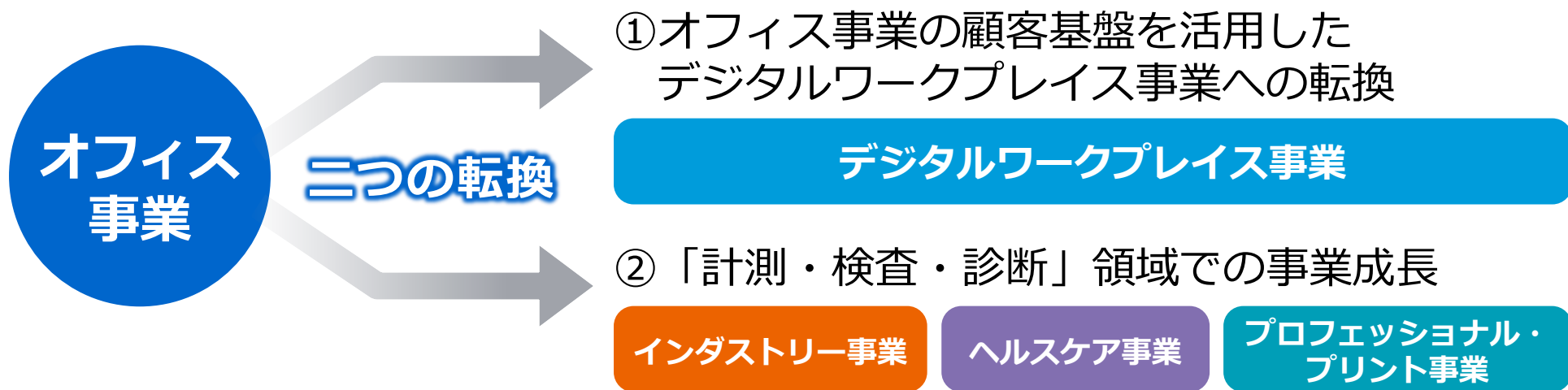
業績予想

- 期初予想（2021年5月14日公表）を据え置く。
 - ✓ 半導体供給遅延の影響（主にDW）は2Qに顕在化見込み。
 - ✓ 欧米での行動規制解除・緩和により、下期のノンハードは想定を超える可能性あり。
 - ✓ ポートフォリオ転換に伴う一過性の損失40億円のうち7割程度が2Qに発生と想定。

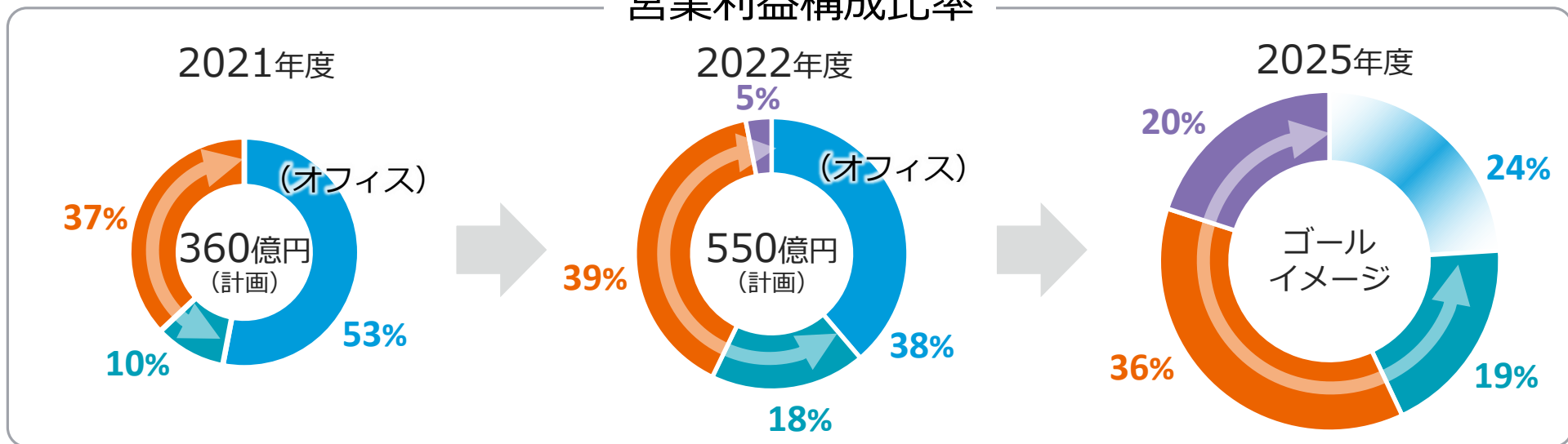
配当予想

- 年間配当:30円/1株（中間配当・期末配当:15円）を据え置く。

中期経営計画「DX2022」について



営業利益構成比率

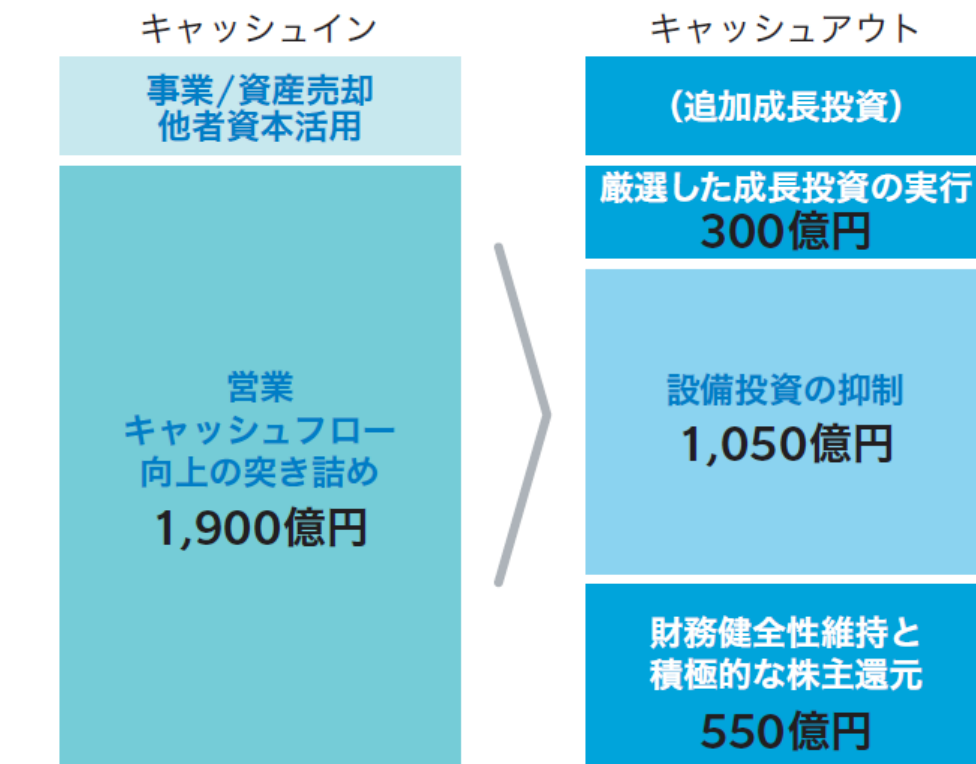


- 20年11月IR Day以降のキャッシュ創出力の進捗を考慮し、年間1,000億円水準の営業CFを念頭にキャッシュアロケーションを見直し。
- ポートフォリオ転換必要な成長投資を実行しながら、ROICの向上、改善を図る。

主要経営指標

	2021年度(計画)	2022年度(計画)
営業利益	360億円	550億円
営業利益率	3.8%	+1pt以上
営業CF	1,900億円	
ROIC	2.8%	+1pt以上

2021-2022年度のキャッシュアロケーションの考え方





KONICA MINOLTA

Appendix



	2021年度 1Q	2020年度 1Q	前年 同期比	【億円】
売上高	2,299	1,732	+33%	
売上総利益 (売上総利益率)	1,013 44.1%	717 41.4%	+41% +2.7pt	
販売管理費	992	937	+6%	
その他収益・費用	10	△ 7		
営業利益 (営業利益率)	31 1.4%	△ 226 -	- -	
金融収支	△ 6	△ 12		
税引前利益 (税引前利益率)	25 1.1%	△ 238 -	- -	
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	10 0.4%	△ 173 -	- -	
EPS (円)	1.98	△ 34.96		
ROE	0.2%	-	-	
設備投資額	89	63		
減価償却費及び償却費 *	141	143		
研究開発費	153	161		
FCF	△ 28	△ 139		
投融資	0	2		
為替レート [円] USD	109.49	107.62	+1.87	
EUR	131.96	118.48	+13.48	

ROE = 親会社の所有者に帰属する当期利益(累計) ÷ 親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均)

* 減価償却費及び償却費：IFRS16による使用権資産償却費は含まない

【億円】

	2021年度 1Q	2020年度 1Q	前年 同期比
販売管理費			
販売変動費	87	71	+17
研究開発費	153	161	△8
人件費	485	454	+30
その他	267	250	+17
販売管理費 計	992	937	+56
	*為替影響額： +40億円（除く為替 +16億円）		
その他の収益			
事業譲渡益	15	-	+15
休業補償等助成金	8	24	△16
その他収益	9	7	+2
その他の収益 計	32	31	+1
その他の費用			
事業構造改善費用	3	23	△20
その他費用	19	15	+5
その他の費用 計	22	38	△16
金融収支			
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 5	△ 9	+3
為替差損益	1	△ 3	+4
その他	△ 1	△ 1	△0
金融収支 計	△ 6	△ 12	+7

【億円】

前年同期比較 (FY21/1Q vs. FY20/1Q)	デジタルワーク プレイス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	インダストリー	コーポレート他	合計
【要因】						
為替影響	+15	+8	+1	+2	△ 1	+25
数量増減他	+67	+71	+31	+53	+1	+223
価格変動	+4	△2	+2	+2	-	+6
コストダウン	+1	-	-	-	-	+1
経費増減	+0	+6	△21	△3	+2	△16
その他収益費用	+19	△3	+2	△3	+2	+17
【営業利益】						
増減額（前年同期比）	+107	+80	+15	+51	+4	+257

	20年3月	21年3月	21年6月		20年3月	21年3月	21年6月
現金及び現金同等物	899	1,238	1,096	営業債務及びその他の債務	1,629	1,858	1,673
営業債権及びその他の債権	2,609	2,628	2,498	社債及び借入金	2,893	3,153	3,159
棚卸資産	1,626	1,569	1,525	リース負債	1,142	954	970
その他流動資産	378	384	437	その他の負債	1,766	1,526	1,441
流動資産合計	5,512	5,820	5,557	負債合計	7,430	7,490	7,243
有形固定資産	3,095	2,925	2,901	親会社の所有者に帰属する	5,237	5,399	5,362
のれんおよび無形固定資産	3,378	3,475	3,479	持分合計	100	108	109
その他の非流動資産	784	777	777	非支配持分	5,338	5,507	5,471
非流動資産合計	7,256	7,177	7,157	資本合計	5,338	5,507	5,471
資産合計	12,768	12,998	12,714	負債及び資本合計	12,768	12,998	12,714
				自己資本比率(%)	41.0	41.5	42.2
				格付け評価用	44.9	45.3	46.1
				自己資本比率(%)			
				D/Eレシオ	0.77	0.76	0.77

自己資本比率=親会社の所有者に帰属する持分/総資産

【為替レート：円】
【影響額、感応度：億円】

	FY20	FY21	対前年影響額		為替感応度*2	
	1 Q	1 Q	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	107.62	109.49	+13	+0	+29	△1
ユーロ	118.48	131.96	+51	+17	+16	+4
ポンド	133.52	153.21	+11	△0	+2	+0
欧州通貨*1	-	-	+71	+17	+22	+7
人民元	15.17	16.96	+15	+6	+35	+13
その他	-	-	+17	+5	-	-
予約影響額	-	-	△0	△3	-	-
合計	-	-	+116	+25	-	-

*1欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	12%	13%	13%	14%	15%	14%	14%	14%	12%
北米	34%	33%	33%	33%	33%	32%	31%	31%	32%
欧州	36%	34%	37%	37%	35%	36%	36%	37%	37%
中国	6%	6%	5%	4%	8%	8%	8%	7%	7%
その他	12%	13%	12%	12%	10%	11%	11%	11%	12%

■ 地域別売上高増減（為替除く）

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	△8%	+4%	+1%	△3%	△19%	△18%	△14%	△11%	+12%
北米	△2%	△2%	△3%	△12%	△34%	△27%	△24%	△20%	+27%
欧州	△2%	△1%	+6%	△7%	△31%	△23%	△19%	△17%	+28%
中国	△4%	△1%	△8%	△40%	△4%	+1%	+7%	+16%	+15%
その他	△7%	+2%	+5%	△6%	△35%	△32%	△25%	△20%	+37%

■ ハード売上に占めるカラー比率

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オフィス	72%	73%	72%	75%	69%	76%	75%	74%	74%
PP	78%	82%	76%	80%	75%	80%	80%	81%	79%

■ オフィスMFP 販売台数推移 Y o Y

【億円】

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
A3カラーMFP	93%	99%	102%	93%	72%	84%	92%	92%	132%
A3モノクロMFP	95%	95%	94%	60%	76%	89%	98%	140%	117%
A3MFP合計	94%	97%	99%	79%	74%	86%	94%	107%	126%

■ オフィスMFP ノンハード売上高推移 Y o Y

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ノンハード売上高	624	605	623	601	421	489	531	511	535
ノンハード比率	53%	50%	52%	51%	53%	50%	51%	47%	52%

■ オフィスMFP ノンハード地域別売上高推移（現地通貨ベース） Y o Y

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	97%	100%	99%	98%	85%	90%	94%	92%	108%
米国	99%	99%	98%	95%	62%	73%	78%	81%	124%
欧州	96%	100%	102%	97%	66%	82%	83%	78%	126%
中国	105%	114%	96%	72%	107%	105%	115%	140%	102%
インド	115%	117%	101%	102%	52%	68%	98%	113%	141%
合計	98%	98%	99%	97%	69%	80%	85%	84%	120%

■ プロダクションプリント 販売台数推移 Y o Y

【億円】

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
カラー機	100%	97%	102%	72%	51%	73%	65%	100%	138%
モノクロ機	107%	87%	89%	76%	59%	68%	71%	95%	122%
合計	102%	93%	97%	73%	54%	71%	67%	99%	132%

■ プロダクションプリントノンハード売上高推移 Y o Y

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ノンハード売上高	203	199	215	198	122	148	179	175	183
ノンハード比率	59%	56%	57%	59%	60%	55%	60%	53%	60%

■ プロダクションプリント ノンハード地域別売上高推移（現地通貨ベース） Y o Y

	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	97%	98%	94%	93%	76%	82%	88%	87%	107%
米国	96%	101%	96%	94%	52%	67%	77%	82%	146%
欧州	97%	97%	100%	100%	64%	77%	79%	78%	138%
中国	112%	121%	116%	92%	113%	117%	140%	138%	156%
インド	117%	121%	116%	105%	34%	71%	105%	113%	245%
合計	102%	99%	101%	99%	62%	75%	84%	88%	141%



【億円】

【売上高】	FY19				FY20				FY21
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
デジタルワークプレイス事業	1,350	1,391	1,395	1,354	946	1,167	1,250	1,289	1,212
プロフェッショナルプリント事業	506	527	554	514	318	417	453	508	479
ヘルスケア事業	259	338	259	330	205	249	282	355	252
ヘルスケア	186	264	181	247	164	191	200	279	172
プレジジョンメディシン	72	74	77	83	41	59	82	76	80
インダストリー事業	300	298	285	289	261	279	315	328	352
センシング	66	67	73	70	71	76	80	96	122
材料・コンポーネント	210	205	189	185	161	176	205	196	205
画像IoTソリューション	25	27	23	34	29	28	30	35	26
コーポレート他	3	3	3	5	2	3	2	5	3
全社合計	2,417	2,557	2,495	2,491	1,732	2,115	2,302	2,485	2,299
【営業利益】	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
デジタルワークプレイス事業	55	78	43	1	△ 96	3	31	35	11
プロフェッショナルプリント事業	11	10	29	△ 7	△ 71	△ 17	△ 0	9	10
ヘルスケア事業	△ 21	△ 12	△ 4	△ 6	△ 47	△ 18	△ 5	7	△ 32
インダストリー事業	32	37	42	32	28	22	48	58	80
コーポレート他	△ 70	△ 65	△ 59	△ 45	△ 41	△ 42	△ 40	△ 26	△ 37
全社合計	6	49	51	△ 24	△ 226	△ 52	33	83	31

・複合機（MFP: Multi Functional Peripheral）スピードセグメント：デジタルワークプレイス事業

Seg.1 ~20枚機、Seg.2 21-30枚機、Seg.3 31-40枚機、Seg.4 41-69枚機、Seg.5 70~枚機（A4縦、分速）

・Workplace Hub（WPH/ワークプレイスハブ）：デジタルワークプレイス事業

当社が提供するエッジIoTプラットフォーム。複合機にサーバーを搭載して、現場（エッジ）でリアルタイムでデータを分析、パターン可視化し、ITインフラ管理コストの削減、ビジネスプロセス効率化に役立つソリューションを提供。人とデータを結び付け、オフィスでの意思決定や問題解決の支援をよりスマートに実現する。

・カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業

ELPP（Entry Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品

LPP（Light Production Print）月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品

MPP（Mid Production Print）月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品

HPP（Heavy Production Print）月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品

・IQ-501（インテリジェントクオリティオプティマイザー）：プロフェッショナルプリント事業

印刷中の常時監視で色管理・表裏見当調整を自動化し、調整時間を大幅に短縮し、生産時間を改善するオプションユニット。

・X線動態解析/デジタルX線動画撮影システム：ヘルスケア事業

X線画像を連続的に撮影することで患部の動きを観察することができより詳しい診断を可能にする装置およびシステム

・RNA（リボ核酸）検査：ヘルスケア事業

DNA（デオキシリボ核酸）の一次転写物であるメッセンジャーRNA（mRNA）構造の変化を捉える検査。従来のDNAでの検査では臨床的な“意義不明”となっていたDNA変異に対して、転写産物のmRNAを解析することでより精度の高い検査結果を提供することができる。

・CARE Program（Comprehensive Assessment, Risk & Education）：ヘルスケア事業

遺伝性乳がんハイリスク群の効果的な拾い上げと遺伝子診断に関わるトータルサポートを行うプログラム。

・SANUQI：インダストリー事業

ディスプレイ用の電子デバイスの構成部材として使用される、新樹脂の商標。本樹脂を用いたフィルムを「SANUQI」フィルムとする。



KONICA MINOLTA

- **本資料の記載情報**
本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。
- **将来見通しに係わる記述についての注意事項**
本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。